

日刊建設産業新聞

活動の場拡大へ 情報発信

JSCA東北

日本建築構造技術者協会 (JSCA) 東北支部 (平山浩史支部長) は1月31日、仙台市のパレスへいあんで20年賀詞交歓会を開いた。

会員、来賓らを合わせ130人が参加し、今年1年の飛躍を決意した。平山支部長は「東北6県で活動の場を広げるとの

方針を掲げ、幹事会を筆頭に各委員会、県プロック代表と連絡を密にして一体となり、情報発信に取り組んでいる。そのためにはみなさんの協力が不可欠」と呼びかけた。



平山支部長

来賓の板橋薫東北地方整備局営繕部長は「会員皆さんの高い技術力と豊富な経験によって東北地方の良好な建築ストックの形成につなげたい」と期待を寄せた。

賀詞交歓に先立ち、「新国立競技場整備事業の構造」について、大成建設設計本部顧問の細澤治氏が講演。木と鉄のハイブリット化による高耐久性建築について話題を提供した。